

令和五年度 作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部

入学式 式辞

本日、作新学院大学並びに作新学院大学女子短期大学部に入学された新入生の皆さん、誠におめでとうございます。保護者の皆様には、ご子息・ご息女様のご入学を心よりお祝い申し上げます。また、ご来賓各位には、ご多忙の中を本学の入学式にご臨席を賜り、心からお礼申し上げます。

ご承知のように、約三年間にわたるコロナ禍も、現在基本的な感染予防対策を継続しながらも、2類から5類への移行やマスク着用の見直しなど、ようやく終息に向かって参りました。

こうした中で、新入生の皆さんは、この清原のキャンパスから、大学生・短大生、大学院生として第一歩を踏み出すことになるわけです。皆さん一人一人が、学生としての自覚と責任をもって学び、行動していく上で、まず理解していただきたい点があります。それは、本学の「作新民」という建学の精神です。「作新民」の由来は、中国の古典である『大学』の一節から引用したものであり、「日に新たに、日に新にして、又日に新なり。新たなる民を作せ」の最後の部分をとったものです。

すなわち、「作新民」とは、自己を日々新しくする人間の育成を意味します。現代的に解釈すれば、刻々と変化する社会状況の中において、主体的に新しい知識や技術を修得して、様々な問題を解決していく能力を身につけた人間を育てていくことです。また、この建

学の精神は、本学の「自学・自習」「自主・自律」という基本理念にも相通じる考え方です。

これからの時代、SDGsや持続可能な社会の実現に向けて、世界的に今起きている戦争、自然災害、感染症などこれまで想定していないような問題や課題を、人間一人一人が柔軟な思考力と想像力を発揮し、主体的に行動して解決していかねばなりません。そうした時代に対応するために、皆さんは、本学の「作新民」という建学の精神と「自学・自習」「自主・自律」という基本理念をこれらの学修や生活の指針として、心にしっかりと受けとめながら、大學生を送っていただく下さい。

また、今後皆さんは、自らの将来の夢の実現のために必要とされる幅広い教養と専門的な知識や技術を、本学において学ぶこととなります。「学ぶ」ということは、本来自分の知の世界が広がって行く楽しさであり、人間が知識や技術などについて「なぜだろう」「何だろう」と主体的に問いながら修得していく連続的行為です。

ぜひ皆さんは、「答えを覚える」だけの学習から自らを解き放ち、「答えのないものに対して考えつづける学び」を実現していただく下さい。

さらに、これから送られる大学生活において、じっくりと自己理解を深めていってください。すなわち、数多くの人間と語り合い、多様な価値観に触れることにより、今後自分はどうのような価値観を持って生きていくべきなのか、あるいは自分の存在意義あるいは自

分にとっての使命とは何かなどをできるだけ問い続けていって下さい。

そのために我々教職員は、感染予防対策を徹底しながら、安全・安心を第一に考え、学修環境を整え、皆さんがキャンパスライフを謳歌できるための様々な工夫を図りながら、授業や諸活動において充実したものを皆さんに提供し、全面的に支援して参ります。

また、本学では、皆さんの夢を叶えるために、さまざまな免許や資格を取得できるプログラムが数多く用意されています。こうした免許・資格の取得をはじめ、ボランティア活動やインターシップといった社会活動、あるいは学生が自主的に取り組む課外活動やサークル活動といった学外における様々な活動にも積極的に挑戦して、多くの人間と交流しながら、自分の可能性を広げていってほしいと思います。

結びに、本学は、自然環境にも恵まれ、明るく自由な雰囲気の中で教育と研究が行なわれ、在学生も活発に活動しています。ぜひ皆さんも、本学のこの自由と実学の精神が溢れる雰囲気の中で、学問に勤しみ、実践知を蓄え、夢の実現に向けて果敢に挑戦する人間として成長していくことを教職員一同心から大いに期待し、式辞と致します。

令和五年四月五日

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部

学長 渡邊 弘

